



全部で123の客室があるが、その内装は全て異なっており、2つとして同じ部屋はない。こちらのスイート・ルームには「枕メニュー」なるものがある。頭や首にフィットする空気系、一晩中、頭寒足熱を約束するヒンヤリ系など、快眠を誘う6種類から好みの枕を選ぶことができる。

のため両国とも表面上は平穏な関係を保っていた。  
しかし、スペインの財を略奪したかった英王室は「私掠船（しりやくせん）」を考案する。表向きは商人である英国航海者たちに、植民地からの財を積んだスペイン船を襲う許可、「私掠免許」を交付し、陰で投資を行った。私掠船の航海で得られた財は、国庫・出資者・船乗員に所定の比率で分配。これにより、イングランドは多大な収入を得ることができた。

無縁も、電話もない時代にどのよう  
に、海岸からロンドンの女王の下まで  
敵の襲来を伝達したのか？その答え  
が「ピーコン（Deacon warning）」で  
ある。  
ピーコンとは木などで組まれた巨  
大なかがり火のようなものだ。「アル  
マダの海戦」では、それが英南海岸  
から始まり、セント・ジェームズ・パ  
レス（St. James's Palace）の屋上な  
ど、ロンドンにあるピーコンまで、各  
地に配置された。海上の敵の姿を確認

### 女王まで火を繋いだ 「ピーコン・ヒル」

この戦いは、英国を黄金時代に向か  
わせ、スペインに衰退の歴史を辿らせ  
るきっかけともなった。  
さて、この海戦において「優れた  
警報システム」としての役割を担った  
「コーン・ヒル（Beacon Hill）」の  
存在も忘れてはならない。首都、ロン  
ドンに待機する女王、エリザベス一  
世らにいち早く「スペイン艦隊」の襲来  
を知らせ、英国海軍を送り、配置する  
のに大貢献したのが幾多の丘だった。  
そして、ペニーヒルもそのピーコン・  
ヒルの一つであった。

した時点で最初のピーコンに火がつけ  
られ、大きく燃え盛る。その火を確認  
した次の地点のピーコン警備隊が、そ  
の地のピーコンに火をつける。またそ  
の次のピーコン警備隊が、「という流  
れで灯火リレーを行い、ロンドンまで  
伝達したのである。ピーコンは、当時  
最もスピーディーで効率的な情報伝達の  
手段だったと言える。  
このピーコンの火を繋げるため、防  
衛に理想的な見晴らしの良い多数の丘  
が「ピーコン・ヒル」として選ばれた。  
「アルマダの海戦」で英国を勝利に導  
いた丘から丘への火のリレー。ペニー  
ヒルもその栄光達成に一役買った土地  
というわけである。

### モダンな リゾート・ホテルへの変貌

一八五一年、セント出身の土木技師  
ジェームズ・ホッジによりペニーヒル  
に邸宅が建てられたのは、今から約百  
六十年前のことだ。  
一八七九年に当主となったのは、銀  
行家、ルイス・スコット。ドイツ・フ  
ランクフルト出身の彼がわざわざこ  
の地に家を構えたという事実には、彼  
の地への強い愛着が感じられる。ス  
コットが増設した、当時の富の象徴で  
もあつた温室は、後に同ホテルの誇る  
巨大スパへと変身を遂げた。  
その後、バースの石を使ったネオ・  
チューダー朝スタイルへの改装、フラ  
ンスの城、シャトー・デ・ヴィランド  
リー（Chateau de Villandry）を真  
似た、ロマンティックなテラスが作ら  
れるなど、歴代のオーナーそれぞれの  
愛情が注がれる。  
一九七二年には、ついにホテルとし  
てオープン。さらに、現在の親会社、

エクスクルーシブ・ホテルズが改装を  
重ね、今に至る。  
ミシュラン一つ星を獲得するレ  
ストラン「ザ・ラティマー（The  
Latimer）」では、まるでアートのよ  
うな盛り付けの料理を味わうことがで  
きる（次頁参照）。このほか、メイ  
ンキッチンの中央に位置し、シェフらが  
立ち働く様子を見ながら食事ができる  
ユニークなダイニング・スペース（六  
十八人用のテーブル）「シェフズテー  
ブル（Chef's Table）」や、軽食、ア  
フタヌーン・ティーが楽しめるややカ  
ジュアルな「アスコット・バー（Ascot  
Bar）」などもあり、チヨイスは豊富。  
天気によれば、池のそばにあるテラ  
スでの食事や、バーベキューも可能だ。  
ただ、客室やレストランのレベルの  
高さもさることながら、このホテルで  
特筆すべきはスパである。  
二〇〇二年にオープンした、広大  
な土地に設けられたスパは、総面積四  
千八百平方メートル（二ヘクタール）  
約十六コート分）で英国最大級と言っ  
ていい。スパ、サウナ、プール、ジ  
ム、カフェ、至福のマッサージを受け  
られるトリートメント・ルームなど、  
贅沢な設備を完備。「Gonde Nast  
Traveller Readers」など人気の旅行  
情報誌や、数々のビューティ系サイ  
トで高評価を得ているのにも納得でき  
る。その充実ぶりは次の頁を参照して  
いただきたい。

サクッとできる  
**ごくウマ3選**  
過去にご紹介したレシピの数々...  
全てネットで公開中です  
今夜の献立に、ぜひご活用ください。  
www.japanjournals.com  
クリックで、  
A4サイズに  
即印刷!



# 英国最大級のスパを満喫 ペニーヒル・パーク・ホテルを征く

ロンドン中心部から車で1時間足らずという便利な立地ながら、美しい自然、  
英国でも屈指のスパ・リゾートを兼ね備える「ペニーヒル・パーク・ホテル&ザ・スパ」。  
歴史的な大戦「アルマダの海戦」でも一役買ったという丘、ペニーヒル。  
この地に建つマナーハウスを、今号では征くことにしたい。

●征くシリーズ●取材・執筆・写真/内園香奈枝・本誌編集部

### セレブ御用達の土地

英国王室が毎年六月に開催する「ロイヤルアスコット」でおなじみの「アスコット競馬場」や、名門ゴルフクラブ「ザ・ペンニング」の「ウエストコース」からもすぐ「ペニーヒル（Pennington）」は、紳士淑女の集うエリアにある。  
サリーの中心部に位置し、高速道M3を使えばロンドン中心部から車で四十五分。新聞の紹介記事にもあつた、ツタの葉に覆われた美しい写真にも心惹かれ、今回取材班が訪れたのは、そのペニーヒルにある「ペニーヒル・パーク・ホテル&ザ・スパ」だ。

交通量の多い国道A30から敷地内に入ると、それまでとは打って変わった静寂の世界に包まれた。針葉樹の森に延びる小道を抜けたところに現れたのは、数百年は収容可能な大駐車場。そして、もともとのマナーハウス（表紙の建物）から拡張を重ねた、モダンで大きな建物。現在、客室は百二十三を数え、大型スパ施設、レストラン、九ホールゴルフコースなどを完備する、リゾート・ホテルへと進化を遂げている。  
マナーハウスのほとんどが数百年の歴史を持つことを考えると、同ホテルの歴史は約六十年とまだ新しい。しかし、ペニーヒルは、英国が黄金時代へと向かう歴史を語る上で欠かせない、「アルマダの海戦」（一五八八年七月二十一日―三十日）にゆかりのある土地でもある。日露戦争時の「日本海海戦」のように、英国で誇りを持って今も語り継がれるこの戦いと、ペニーヒルとの関わりを追ってみよう。

### 勝利の一端を担った丘

イングランドでエリザベス一世が君臨していた十六世紀末。英国はまだ、後に七つの海を支配するようになる大英帝国の時代の姿とはほど遠い、二流の島国でしかなかった。国庫歳入の多くを担っていたのは、ネーデルランド地方（現オランダ・ベルギー地方）への毛織物の輸出。しかし、ネーデルランド地方は、大帝国スペインの支配下にあり、その外交には難度の高い舵取りが要求された。  
一方のフエリベ二世を国王とするスペインは、前述のネーデルランド、ポルトガル、イタリア南部、中南米などを属領や植民地に持ち、その土地からの物資でうるおうヨーロッパ最強国家。地中海を中心に、数々の海戦で勝利を収め、支配を拡大し、世界中に領地を持つことから「日の沈まない国」と呼ばれていた。さらに、プロテスタント新興国である英国に、スペインを代表とするカトリック勢力は対立関係にあつた。しかし、戦争となると互いにリスクも大きい。そ



オシャレな盛り付けの1皿、1皿に心踊る

# レストラン The Latymer ザ・ラティマー



ミシュラン1つ星を獲得しているレストラン、「ザ・ラティマー」。チューダー調の内装が、広すぎず狭すぎないスペースと共に、落ち着いた雰囲気を醸し出す。

今回取材班がランチにオーダーしたのは、様々なメニューを少しずつ食すことができる懐石風の「テイスティングメニュー Tasting Menu £58」。このランクのレストランであれば£80くらいが相場であるのを考えると、割と手ごろな値段と言えよう。

地元のオーガニック素材を生かした、さながら芸術作品のように目で楽しませてくれる前菜系の3品、素材の味を存分に味わえるメイン系の3品、コースを締める甘いデザート2品の全8品。シェフは前任のレストラン「マイケル (Michael)」でもミシュラン・スターを獲得しているマイケル・ウィグナル氏=写真。手間隙かけた、繊細な盛り付けの料理が多く、丁寧な仕事に好感が持てた。

## 1. Salt cod boudin, poached quail egg, khoh rabi, crispy tapioca

塩だらのムース

ふわとした塩だらのムースは、ウズラの卵のポーチトエッグが添えられ、よりまろやかな味になっている。トッピングに盛られたタピオカのバリバリ揚げ、アサリ、枝豆の歯ごたえと、食感のバランスも見事。



## 2. Roast calves sweetbread, Hereford snails, marjoram cabbage, roast crosnes and shallots

くせない柔らかい子牛のすい臓 (sweetbread) を使った一品。エスカルゴ、シャロットなど複数の素材に、それぞれの味を引き立てる異なるソースが添えられていた。



## 3. Seared tuna in five spice and cumin, slow cooked octopus in its own jelly, oyster beignets, ginger marshmallow, carrot jelly

マグロのスライスロールとタコのゼリー詰め

遊び心のある1皿。主役は「く」の字に置かれた、しょうゆとエスのゼリーで巻かれたさっぱり風味のマグロのスライスロールとタコのゼリー詰め。表面を焼いたマグロのたたきと生薬風味のマッシュポテトのキャロット・ゼリー、ロールなどと共に、真上から見ると対称をなすように盛り付けてある。

## 7. Coconut parfait, vanilla puff pastry, pineapple beignets, caramelised puree, coconut sorbet

ココナッツ・パフェ

コロコロとした見た目がかわいらしいデザート。コクのあるココナッツのシャーベットに、ふわとした小さなパンのシュー、甘いキャラメル・ビュレ、そして爽やかなパイナップルのソースがマッチしていた。



## 8. Moelleux of dark chocolate, malted milk sabayon, lavender, honey ice cream and jelly

ダーク・チョコレートケーキ

どっしりと濃厚なダーク・チョコレートケーキは少々甘すぎたが、風味は。蜂蜜のアイスクリームは、後に残るラベンダーの香りが印象的だった。



## 5. Fillet of red mullet, anchovy beignet and crisp, hand dived scallops, confit yolk, roast peppers with Jerez vinegar, Bagna Cauda jus

赤ボラのフィレ

上品な味で人気の高級白身魚である赤ボラを、香ばしく焼き目のついた皮と共に素直に味わえるソテー。添えられた天然ホタテのソテーやアンチョビのフライとも好相性。ロースト・ペッパーの甘みが程よい味のアクセントになっていた。



## 6. Poached chateaubriand of Limousin veal, smoked potato gnocchi, 'trompette de la mort', parsley root puree, Madeira jus

子牛のヒレ肉のステーキ

ややレアに近い、ジュシーでやわらかい子牛の厚切りヒレ・ステーキ。ジャガイモのニョッキ、マッシュルームが添えられている。正統派マディラソースで食す。



## 4. Poached royal Anjou pigeon, creamed polenta, braised chicory, jasmine jus

ポーチト・ピジョン

一見、生に見えるハト肉だが、低温でゆっくりじっくりと熱を加えてあり、レバーにも似た少しクセのあるハト肉の味をシンプルに堪能できる。ハト肉を覆う半透明の飾りは、鶏皮の超薄切りをバリッと揚げたもの。



話題のスパで、癒されて、美しく

# The Spa ザ・スパ

同ホテルが誇る、総面積約4180平方メートル、2階建ての巨大スパ。「European Health & Spa Awards 2009」で「ベスト・ホテル・スパ」に、情報誌「Professional Beauty」の2010年の読者投票では「最も魅力的なスパ」50件中2位に選ばれている。

室内・屋外含め8つのスパ、プールがあり、エステやマッサージが受けられるトリートメント・ルームは21部屋。このほか、ジム、マッサージチェア付きのリラクゼーションエリア、軽食や絞ったジュース、シャンパンが楽しめるカフェも完備され、1日快適に過ごせる。

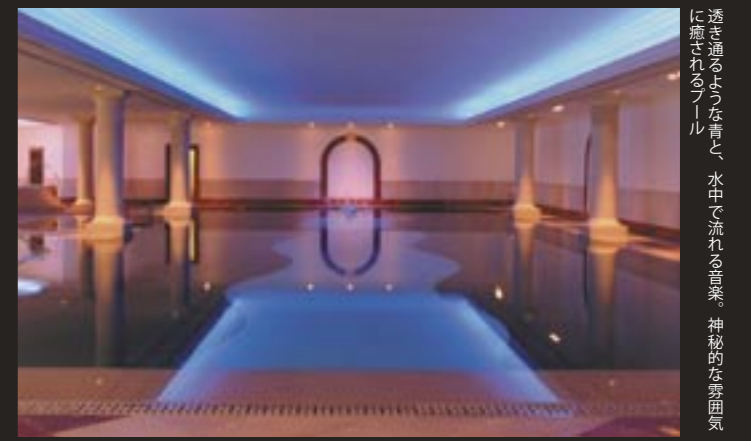
宿泊すればスパの入場は自由だが、宿泊無しでもOKの、食事+トリートメント+スパが付いた「1日コース」もあり (下参照)。館内では、水着の上にバスローブをまとった利用者のリラックスした姿が目立った。

※16歳以下の子どもは、外のプール以外は利用できないのでご注意ください。

## 全て制霸したい、スパ、プール全8種

プールは、水中で音楽が流れるクリスタル・ブルーの25メートル屋内プール (写真右)、ジェット・パワー水調剤付きの25メートルの屋外プールや露天風呂、水温36~38℃と温泉気分が楽しめるジャクジー付きの湯治プールなどバラエティ豊かな全8種。すべてのプールで美容にも効果的と言われる「オゾン水」が使われている。

ほかにも、ハーバル・サウナ、氷の部屋「アイス・ケープ」、体を温めながらくつろげる椅子 (温めた石に座るスタイル) や、足湯などがそろそろ。



透き通るような青と、水中で流れる音楽。神秘的な雰囲気に癒されるプール

## 自然派トリートメントでうっとり

とにかくこだわりを感じさせるのが、トリートメント用の自然派ビューティ・ブランド。1つはオーストラリア先住民、アボリジニーに由来する「Li'tya」。太古の昔から癒しと成長、健康をもたらしてきた現地の植物、果物、黄土、海草、砂漠の塩が使われている。

もう1つは、人間の内面からの美しさと健やかさを追求する「Terraké」。地球、水、空気、光、植物の生命から得た要素やミネラルが元になっているという。

また、リズミカルな動きが特徴の伝統的なアボリジニー流マッサージ「Kodo」、頭皮・ハンド・フットマッサージ、フェイシャルなどがセットになった3時間の超贅沢トリートメント (Signature Treatment £240) もあり。

## ジムのハイテク・マシンでエクササイズ

総面積約280平方メートルのジムには、最新のマシンがスリリ、エクササイズ・スタジオではピラティス、ヨガ、タイチなどのクラスが受けられる。日ごとの運動不足を解消して、体をほくそう。タオルの使用は自由、またフルーツが用意されているというのもちょっとウレシイ。



## 1日コース 1 Day Course

Evening De-stress £90  
30分のフェイシャル、または上半身のマッサージ+軽食 (ドリンク無し)+スパ全設備利用可  
利用時間: 日曜 午後4時~9時  
月~金曜 午後5時~10時

Two Treats in One Day £99  
アスコット・バー、または池のそばのテラスでのアフタヌーン・ティー+45分のトリートメント+スパ全設備利用可  
利用時間: 月~金曜 午後3時30分~10時

※他にも宿泊無しで利用できるコースがシーズンごとに用意されているので、ホームページでチェックを。



## トリートメント・メニュー

Kodo Massage (60分)	£85
Mala Mai - Scrub & Mud for the Body (90分/120分)	£125 / £160
Origins of the Sea Face Hydration (60分)	£95
Champagne & Mandarin Manicure (60分)	£75

あなたのブログをジャーニーのホームページにリンクしませんか?

# 個人ブログ大募集!!



現在、インターネット・ジャーニーへのアクセス数は月平均約11万。

あなたが発信している英国での生活に関するブログを、

今よりちよっぴり多くの方にご覧いただくためのお手伝いができるかもしれません。

営利を目的としていない個人のブログであれば、リンクはもちろん無料です。

お申し込みはインターネット・ジャーニー「個人ブログの部屋」をご覧ください。

※掲載にあたり、事前に一定の審査をさせていただきます。内容によってはリンクをお断りしなければならない場合がございます。予めご了承ください。

# www.japanjournals.com

## インターネット・ジャーニー

## トラベル・インフォメーション

2010年2月16日現在

## ペニーヒル・パーク・ホテル&ザ・スパ

Pennyhill Park Hotel & The Spa  
London Road, Bagshot, Surrey, GU19 5EU  
Tel: 01276 - 471774  
www.pennyhillpark.co.uk



## アクセス

ロンドン市内より車で1時間弱。高速道M3などから、国道A30のLondon Roadに入り、T-Junction (Fighting Cocksというバブが目印) から1/2マイルほど直進すると、右手に看板が見える。

## 宿泊料金

1室1泊の料金 (Spa入場料、VAT込)	
Traditional Guest Room	£265
Deluxe Guest Room	£295
Traditional Junior Suite	£350
Deluxe Junior Suite	£425
Deluxe Suite	£500
Exclusive Suites	£800~